

## 青森県弘前市

### 弘前市グリーン・ツーリズム推進協議会

#### 問合せ先

窓口組織名：弘前里山ツーリズム  
住所：青森県弘前市悪戸芦野 156-1  
TEL：0172-87-6089 FAX：0172-67-6806  
E-mail：hirai@infoamori.ne.jp

#### アクセス

最寄りの都市：青森市  
集合場所：弘前市役所岩木総合支所駐車場  
車の場合：80分



### 受入概要

農業・自然・文化にふれあうことのできる津軽の里山で、秀峰岩木山と世界遺産白神山地の自然の恩恵を受けた農業と生活文化が息づいている環境をフィールドにし、農家に宿泊し、季節に応じた農作業体験を組入れ、家族みんなで生活体験メニューを組立て、感動請負人として家族みんなでおもてなしする。

農産物の成長過程、受入家族と食卓を囲みながらの語らいや家族団らん、地域の協力した受入態勢により、弘前の文化や歴史、伝統芸能に触れ、伝統工芸品作りを体験する。地域の様々な人や自然との交わりから成り立っている農村社会を知り、そこで暮らす人の優しさやぬくもりにふれることで、豊かな人間性や社会性を育む。受入窓口を一本化、安全対策や緊急時マニュアルの整備など受け入れ態勢も万全で特別支援学校や特別支援学級の受入実績もあり対応可能

### 受け入れ地域の特徴

#### 自然・地理的な特色

弘前市は、本州最北端青森県の南西部、広大な津軽平野の南部に位置し、県庁所在地の青森市との距離は約40km、JRで約40分、バスで約1時間の距離にある。青森空港まではバスで約1時間の距離にあり、恵まれた自然環境や農村を保持しながら、交通アクセスに恵まれている。

自然資源については、東に奥羽山脈の八甲田連峰を望み、西に青森県最高峰の秀峰岩木山を有し、南には、秋田県にまたがり世界遺産に登録されている白神山地が連なり、山々に抱かれた津軽平野部は県内屈指の穀倉地帯となっている。また平野に連なる丘陵地帯には全国一の生産量を誇るりんご園地が広がっている。

#### 歴史・文化的な特色

弘前市には、国指定史跡の弘前城や重要文化財である最勝院五重塔、革秀寺、長勝寺山門などの神社仏閣、明治時代に建築された洋風建築物や江戸時代に建築されたといわれている伝統建築物が数多く残っている。

さらに、弘前にゆかりのある葛西善蔵、石坂洋次郎、佐藤紅緑、福土幸次郎、高木恭造、太宰治、土井晩翠などの句碑や歌碑が数多く、文化的資源が豊富です。その他、「ねぶた」「津軽三味線」をはじめとする大小の郷土芸能や手のぬくもりが感じられるごきん刺し、あけびツル細工、津軽塗などの伝統工芸、伝統文化にふれることができる観光と農業のまちである。

#### 農林水産業の特色

農業は、りんごと米を基幹作物とする土地利用型農業が主体となっている。

りんごは、全国の約2割、青森県の約4割を生産する日本一の産地で、本市の農業産出額の約8割を占めている。米は、県内有数の良質米地帯だが、生産調整の強化と価格低迷により作付面積及び農業産出額とも減少傾向にある。その他、ぶどう、西洋なし、おうとう、もも等の果樹及び、トマト、きゅうり、メロン、えだまめ、スイートコーン等の野菜、更には畜産、大豆等の畑作物、えのきたけ等の特用林産物など、地域の特性を生かした多様な生産が行われており、市民に新鮮で多彩な食料が供給されている。

#### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	30	1	3	1
最大宿泊可能人数	120	18	150	180
料金	2200円	8500円	-	-

## おすすめ体験学習プログラム

### りんご花摘み体験（120分・農業体験）

【期間】

5月6日～5月20日

【内容】

りんごの花が咲くと中心花を残し、大きく成長する手助けをする作業が摘花作業である。短期間で集中しておこなう大切な作業を体験。摘花した花を拾い集めて、押し花や草木染に利用する。

### 畑作農業体験（240分・農業体験）

【期間】

6月上旬～9月30日まで

【内容】

トウモロコシ農家、野菜栽培農家、漬物農家で野菜の種まき、苗植え付けや畑の管理作業、収穫体験や直売所への出荷手伝いなどが体験できる。

### りんご草木染体験（90分・クラフト体験）

【期間】

5月中旬～9月中旬まで

【内容】

りんご畑での体験。りんごの枝、花、葉を使ってハンカチを染める。ハンカチはりんごの木にロープを張り、自然の中で乾かし、完成する。

### 花卉栽培体験（240分・農業体験）

【期間】5月上旬～9月下旬まで

【内容】

土づくり、花壇の手入れ、草花の植え付けや種まき、切花出荷の手伝い、ミニフラワーアレンジメント体験を実施する。



#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	-	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	あずまし里山ファームステイ	実施時期	5月上旬～6月中旬・7月上旬～7月下旬・8月下旬～9月下旬
ねらい	農業宿泊体験を通して、子ども達の学ぶ意欲、自立心、人間性や社会性を育み、食の大切さを学ぶ。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	入村式⇒農家宅へ移動	自己紹介と生活での注意事項連絡 昼食共同調理体験 郷土の文化に親しむ
	午後	農作業体験 夕食共同調理体験 家族交流、	りんご作りの一年と今の作業を知る
	宿泊	農家民宿	家族での夕食、団欒を通して、道徳的な実践力を学ぶ。
2日目	午前	農家体験（農業・生活） 昼食共同調理	りんご体験、稲作体験、畑作体験、花卉栽培体験など受入農家により内容は異なるが、季節の農作業や農村生活を体験し、学校で学ぶ知識と生活を結び付ける。
	午後	農家体験（農業・生活） 夕食共同調理	受入農家対応。学校で学ぶ知識と生活を結び付ける。
	宿泊	農家民宿に分宿	家族での夕食、団欒を通して、道徳的な実践力を学ぶ。
3日目	午前	地域文化探訪 郷土料理体験	神社仏閣、地域の歴史文化について学ぶ 2時間 食の伝承隊が郷土料理を伝授。食から地域を学ぶ
	午後	伝統工芸品作り	アケビつる細工、竹細工、ござん刺し、津軽罫、津軽塗りなどの工芸品やりんごの枝を使ったリースや草木染体験し、学校で学ぶ知識と生活を結び付ける。
	宿泊	公的宿泊施設	
4日目	午前	自然体験（登山）	岩木山登山（8合目⇒リフト⇒徒歩登頂）により、本物の自然を体験する。
	午後	自然観察（植物・環境） キャンプファイヤー	植物観察と森林環境について学ぶ 3時間 共同作業としてキャンプファイヤーで自然を満喫し、協調性を学ぶ。
	宿泊	公的宿泊施設	
5日目	午前	離村式	

## 青森県黒石市

### 黒石児童自然体験協議会「まほろば学校」

#### 問合せ先

窓口名：特定非営利活動法人くろいし・ふるさと・りんご村

住所：青森県黒石市温湯字派 15-4

TEL：0172-54-8210

E-mail：npo-kfr@bz03.plala.or.jp

#### アクセス

最寄りの都市：黒石市

集合場所：津軽伝承工芸館

車の場合：10分



#### 受入概要

江戸時代からの風情を残す街並が残る黒石。日本の道百選にも選ばれた「こみせ（小見世）」には、伝統的建造物とアーケードが藩政時代からほぼそのままの形で今に残っている。こみせ通りには、全国的にも珍しい、日差しや吹雪から人を守るアーケードがある。昔の商店通りだったこの道は買い物に来た人の為に自分たちの敷地内にアーケードを作ったのだそうだ。他にも、国指定重要文化財の「高橋家住宅」や昔ながらの造り酒屋などが並び、風情ある街並が残っている。同時に、黒岩は自然豊かな十和田八幡平国立公園の北西の玄関口でもあり、豊かな自然のなかでわんぱく田舎暮らしをする。農作業を体験し育てる事と食の大切を知る。山、川、水を通して命を考える。等の魅力的なプログラムがある。

#### 受け入れ地域の特徴

##### 自然・地理的な特色

黒石市は、弘前市から続く津軽平野の東端に位置し、農業の盛んな平野地域と、十和田八幡平国立公園へと続く山間地を有している。黒石市は国立公園の北西の玄関口に位置し、紅葉シーズンには多くの観光客でにぎわう「中野もみじ山」や、浅瀬石川に添って点々と存在する多くの「秘湯」を有する。これらの温泉は古くから湯治場として栄えた場所であり、長寿温泉、温湯温泉、落合温泉、板留温泉、青荷温泉などがある。

おもな観光地は以下の通り。

県立自然公園指定、浅瀬石川ダム公園、青少年の森、黒石温泉郷、中野もみじ山、

##### 歴史・文化的な特色

文学の森、ダム資料館、津軽こけし館、こみせ（日本の道百選）が市街にある。祭りやイベントとしては、黒石ねぷたまつり（7月下旬 - 8月上旬）黒石よされ（8月中旬）黒石こみせまつり（9月中旬、2月上旬）黒石りんごまつり（11月）旧正マッコ市（2月第1日曜日）大川原火流しがある。

##### 農林水産業の特色

かねてから寿司米に使われる黒石米の産地として知られているのに加え、明治時代に導入されたリンゴの主産地でもある。総面積二一六平方キロメートルの約八割が山岳地帯のため、きれいな水や米とりんごを主軸に第三作物のブランド化に力を入れ、生産額 100 億円農業を目指している。黒石は、りんご試験場の所在地であり、本県のりんご産業を牽引する存在する。



#### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館
軒数	20	13	6
最大宿泊可能人数	100	200	400
料金	-	8400 円	8400 円

## おすすめ体験学習プログラム

### りんご作業（180分・農業体験）

【期間】

5月中旬～9月中旬

【内容】

りんご作業。時期にあわせて苗木作り作業、花つみ作業、摘果作業、仕上げ摘果作業、袋かけ作業、葉取り作業、収穫作業体験を行う。



### ねぶた作り（300分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

金魚ねぶたづくり。かけひごを組み、紙をはり。最後に色づけをする。屋内での実施のため雨天対応可能である。

### 郷土料理とりんごのおやつ作り（240分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

郷土料理とりんごのおやつ作りを行い、地域の食材でごはんを食べる。

#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	りんご体験と津軽のまつり	実施時期	5月上旬～11月上旬
ねらい	児童が、津軽山形地域の特色ある自然・農林業を体感し、チャレンジするとともに、農林家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）	挨拶・自己紹介・当該地域に関する情報交換（事前学習に基づき児童からの質問に答える。）・歌（道） 受入農家へ移動・食材調達
	宿泊	農家民宿	受入農家と対面 オリエンテーション
2日目	午前	りんご畑作業	当該地域に関するりんごの解説と実選り作業を行う。（天候不良の場合、室内メニューを提供） りんご畑周辺の動植物の生態観察（天候不良の場合、室内メニューを提供）
	午後	りんごおやつづくり	アップルパイ・りんごケーキ・りんごコンポート作り 試食体験
	宿泊	農家民宿	農林漁家との夕食作り体験。お別れ会を兼ねた夕食
3日目	午前	ねぶたづくり	ねぶた骨組・ねぶたの紙貼り体験 ねぶた絵の下書きのためロウ書き・ねぶた絵付け
	午後	黒石よされとねぶた運行	黒石よされ（流し踊りの体験） 黒石ねぶた（ねぶた運行体験）
	宿泊	ホテル・旅館・民宿	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
4日目	午前	自然の森ハイキング	インストラクターの指導による里山散策体験（天候不良の場合、室内メニューを提供） インストラクターの指導によるツリーイング体験
	午後	浄仙寺「文学の森」見学、（松尾芭蕉はじめ様々な文学碑があります。）	和尚さんのこつわ・座禅体験 2時間 インストラクターの指導による里山散策体験（天候不良の場合、室内メニューを提供）
	宿泊	ホテル・旅館・民宿	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	ダム資料館・こけし館見学	浅瀬石川ダム見学 1.5時間 こけしの絵付け・こけし館見学
	午後	退村式	

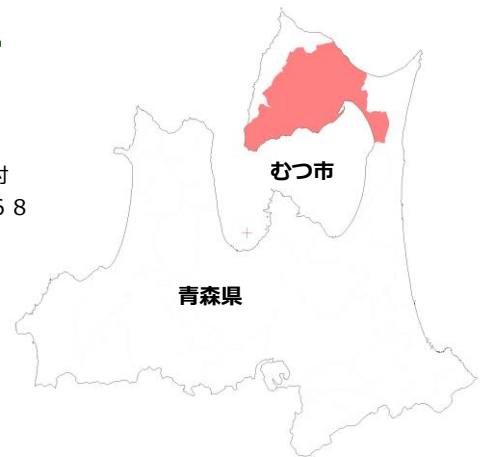
## 青森県むつ市 下北ふるさと活性協議会

### 問合せ先

窓口名：特定非営利活動法人斗南どんどこ健康村  
住所：青森県むつ市大字田名部字品ノ木34-68  
TEL：L0175-22-4208 FAX：0175-22-7731  
E-mail：koda@sofcom.jp

### アクセス

最寄りの都市：青森市  
集合場所：NPO法人斗南どんどこ健康村駐車場  
車の場合：120分  
鉄道の場合：150分



### 受入概要

受入に際しては、むつ市及び東通村を中心とする民間受入団体や漁業、農業、林業関係者、宿泊施設、商工業者及び関係市町村と受入協議会を構成し、体験・宿泊・食などの体験観光について、安全・安心、かつ家庭的な交流を提供する。協議会の中心となっているNPO法人斗南どんどこ健康村は、これまでも人材教育や、講習会及び体験教室を開催しており、体験活動指導者に約30名が登録をしている。東通村東風塾では毎年東京の小学生の宿泊体験の受け入れ活動をしており、またNPO法人斗南どんどこ健康村でも、郷土資料館への小学生の学校を通じた見学を受け入れており、地域の縄文遺跡にちなみ親子縄文土器体験教室を開催したほか、大学ゼミの学生による宿泊農業体験も実施している。このように、受け入れ体制の充実に加え、当地域では自然資源、農林水産資源及び文化的資源が豊富であり、数多くの体験メニューを用意することが可能である。

### 受け入れ地域の特色

#### 自然・地理的な特色

当地域が位置する下北半島は、青森県の最北端に位置し、典型的な半島地形のため、平坦地が少なく、大部分が山林で占められている。また、3方を海に囲まれていることから漁業が主要産業の地域である。またむつ市は陸奥湾に、東通村は太平洋と津軽海峡に接し昔は海産物の積出港として、蝦夷地への寄港地として栄えてきた。

自然資源について下北半島は国定公園に指定されており、手付かずの自然がまだ多く残っていることから豊かな自然を満喫することができる。

#### 歴史・文化的な特色

当地には信仰の山「恐山」があり、人は死ねばお山（恐山）に行くことされ、遺族は恐山詣でにより、故人を偲び供養する習わしになっており、イタコの口寄せはこのような信仰の表れでもあり地域の土着信仰について学ぶことができる。

また、むつ市内には、明治初年に悲惨な運命をたどった斗南藩士に関連する史跡もあり、斗南藩を通して、この時代の歴史について学ぶことも可能である。地域の各地区においては「能舞」を始めとする民俗芸能が伝承されており、特に「能舞」は国の重要無形民俗文化財に指定されている。

#### 農林水産業の特色

下北半島における農家数は2068戸で耕作面積6,110ヘクタールとなっており、このうち水田は28.8%と少なく他の地域に比べると畑地や草地面積が多くを占めている。このことから当地域では、稲作、畑作及び畜産など幅広い農業体験が可能。

また、海岸線が長いことから漁業が盛んで漁業産出額は11.1億円で農業の50億円を大きく上回り、地域の基幹産業となっている。また、就業人口も多くホタテ貝、烏賊、ヒラメを始めとする豊富な魚貝類に恵まれ、多様な漁法による漁業が営まれている。

一方、林業は、木材価格の低迷や林業従事者の不足などにより停滞ぎみとなっている。しかし、ヒバ材を始めとする地域資源を活用した伝統工芸品は高い評価を得ている。

### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	10	9	50	2
最大宿泊可能人数	50	100	1000	150
料金	5500円～	3500円	8500円～	2700円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 地引網体験（60分・漁業体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬

【内容】

昔ながらの漁法である「地引網」を津軽海峡や太平洋側で体験することができ、ヒラメやカレイ等様々な魚が捕れる。

### 鮭のつかみ取り体験（60分・漁業体験）

【期間】

9月下旬～11月上旬

【内容】

太平洋から遡上してきた鮭をつかみ取りする体験。川の中を泳ぐ鮭を追いかけて捕まえることができる。通常は漁師のみに認められている。

### 溪流釣り体験（90分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

4月上旬～8月下旬

【内容】

広場のせせらぎで、安全に溪流の魚の代表格であるヤマメ釣りが体験できる。

### 恐山学習（60分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬まで

【内容】

信仰の山「恐山」は活火山であり、カルデラ湖である宇曽利山湖やわき出ている温泉を通して恐山信仰を合わせた火山の学習をすることができる。

### 斗南藩を史跡体験（3分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

斗南藩士がその後に残した活躍も合わせて説明し、明治初年に悲哀をたどった斗南藩史跡を訪ね、地域のできごとを理解する。

### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	春・夏のおすすめプラン	実施時期	4月中旬～9月上旬
ねらい	子供たちが、むつ下北地域の特色ある自然や農林漁業を体感し、体験活動にチャレンジすることで新たな自分の発見をすると共に、農林漁家での家族的な異世代交流を通じた、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた行動ができる力を養うことをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換	挨拶・自己紹介、地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。）1時間 共同で夕食調理体験
	宿泊	公的宿泊施設「むつ市立少年自然の家」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	ホタテの殻むき体験	生きたホタテ貝の殻むき体験をして、試食します。2時間 尻屋海岸及び寒立馬の観察による自然環境体験
	午後	漁家の生活体験（班別活動）	漁師さんの指導を受けながら漁家の作業体験をします。
	宿泊	漁家民泊	夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う。
3日目	午前	農家訪問体験（班別活動）	農家の指導を受けその時々々の農作業について体験（天候不順の時は屋内メニュー）します。
	午後	農家訪問体験（班別活動）	家畜の飼育や田畑に生息する動植物の観察体験を行います。
	宿泊	漁家民泊	夕食をしながら農家の暮らしについて学びます。
4日目	午前	農家とのお別れ パークゴルフ体験	4名ずつに分かれてプレイをします。
	午後	バター、アイスクリーム作り体験 宿泊施設への移動	牛乳の製造工場を見学し、バター作りなどの体験をします。
	宿泊	民間宿泊施設	その日の体験についてふり振り返り、意見を交換します。
5日目	午前	むつ科学技術館の見学体験	むつ科学技術館で海洋等に関する展示施設の見学及び簡単な実験を体験します。
	午後	退村式	

青森県鱒ヶ沢町

鱒ヶ沢白神グリーンツーリズム推進協議会

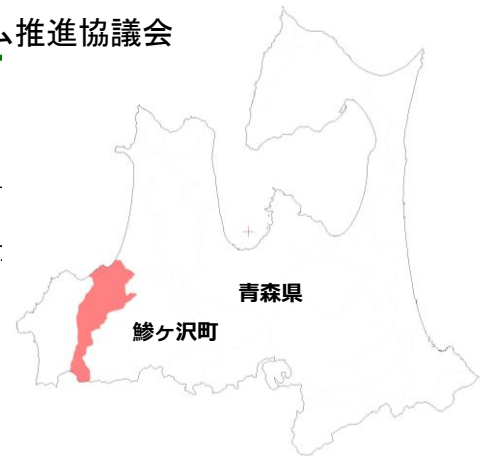
<http://school.shirakami.gr.jp/>

問合せ先

窓口名：特定非営利活動法人 白神自然学校ー  
住所：青森県鱒ヶ沢町一ツ森町字上禿 88-2  
TEL：0173-82-7057 FAX：0173-82-7057  
E-mail：school@shirakami.gr.jp

アクセス

最寄りの都市：青森市  
集合場所：白神自然学校一ツ森校  
車の場合：120分



青森県

鱒ヶ沢町

受入概要

この地区の山・川・海の資源を活かし、学習効果のあるプログラムを提供できると共に、安全、安心な受入を提供することを方針として取り組んでいる。今までも白神自然学校一ツ森校を中心に 10 年間の実績があり、食品衛生の資格も取得し、地域内の農林漁家の方々から体験指導の人材育成の為に講習会や研修会を実施。特に、NPO 法人自然体験活動推進協議会のリーダー資格・インストラクター資格の取得者が担当し、個々の児童に対応しており、きめ細かな対応をしている。特に昨年からは白神自然学校一ツ森校の中に、農家レストラン「しらかみ」をオープンして、白神グリーンカレーや熊鍋・金アユ定食などの郷土料理を提供。また、白神山地から採取したクロモジを使ったアロマオイルの抽出を通して、農家の若妻によるアロママッサージの育成にも努めている。またクロモジ茶の提供なども行っている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

鱒ヶ沢町は日本海（青森県の西海岸）に面し東西 22km、南北 40km に及び県内で 8 番目の広さを有している。市街地は海岸線に沿って形成されているほか、町土を流れる赤石川、中村川、鳴沢川の地域におよそ 40 の集落が散在している。町土のおよそ 8 割が山林で占められ、豊かな自然を象徴している。当該地域の一ツ森地区は水稻栽培を中心とした地域である。一ツ森地区は、南側が世界遺産白神山地を有しており、森のトレッキングや植林・林業体験・遊々の森での木こり体験ができマタギの狩猟の追体験ができる。川は、近くには白神山地で一番長い赤石川が流れており、有名な金鮎釣りが体験できると共に、沢登り、川遊び体験ができる環境にある。③鱒ヶ沢町は西は日本海で遠浅の海水浴場と、岩場を含む海の生き物探検にふさわしい芭蕉が点在している。



白神の山

歴史・文化的な特色

江戸時代から明治にかけて、日本海は北前船が盛んに行き来していた。当時の日本は、幕府の鎖国政策のため国内海運がめざましい発展を遂げた時代で、一大消費地、江戸や大坂間の海運は随分盛んであった。当時の船運の隆盛の様子を伝えるのが船絵馬だったが、白八幡宮には大きく帆をはらませて誇らしげに日本海を航行する三艘の北前船が描かれたものが残存している。当時の海運事情を知る資料としても貴重なものである。

種里地区には津軽家の始祖と言われる大浦光信が住んでいた住居跡があり、小高い丘の上に土塁や郭が遺構として残っている。城の入り口には「津軽藩発祥の地」という碑があり、三戸城の領主南部氏が安東氏が治める津軽地方を制圧するために光信が派遣されたと言われている。

農林水産業の特色

水稻（年間収穫量約 5,450t）を中心に、アスパラガスの生産は県内一となっており、スイカ、メロン、長いも、リンゴ等の栽培も盛んに行われ、大豆、小麦等の畑作も行われている。

水産業では、マイカの年間水揚量を中心にヤリイカ、タイ、ヒラメ、タラ、ハタハタ等が水揚げされている。内水面漁業も盛んで、赤石川の「金アユ」の養殖に成功し稚魚を県内各河川へ出荷している。また、幻の魚「イトウ」も白神山地の清流を利用し養殖している。林業は、昔から薪木や炭の生産が盛んにおこなわれており、ユネスコの世界遺産に登録されたブナ原生林有する白神山地があり、この優れた自然景観の保全や保護に努めている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館
軒数	1	9	10
最大宿泊可能人数	5	100	1200
料金	4000 円～	7500 円～	9000 円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 白神山地の里山一ツ森の自然観察（180分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

鱒ヶ沢町の一ツ森地区里山に入り、白神山地の里山の生育の特徴や動植物の生態等の自然環境の一端を学ぶことや、森林資源の働きや自然災害の防止の必要性を学ぶことができる。



### 屋外での秘密基地づくり（360分・クラフト体験）

【期間】

6月～10月

【内容】

班別に、事前にテーマを決めて、秘密基地の建設の計画をつくり、その計画に応じて、秘密基地を作成する。完成後、それぞれのできばえを記録し、事後学習での発表の材料にする。

#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	鱒ヶ沢町の農山漁村交流・体感プログラム	実施時期	5月上旬～5月下旬 6月上旬～10月下旬
ねらい	地域の人材や素材を児童がふれる機会をできるだけ多く提供することになっている。また、児童が地域について事前に調べたことと実際とのギャップを体感できるように配慮する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。）
	宿泊	一ツ森地区の農家民宿と白神自然学校内	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	里山のトレッキング（一ツ森山）（全児童参加）	インストラクターの指導によるトレッキングを行う。（天候不良の場合、屋内メニューを提供）3時間 採取してきた山菜を加工した料理体験をする。
	午後	農林漁家の生活体験（班別活動）	対面式：各農林漁家泊先との対面し、自己紹介をする。 各農林漁家泊先に任せて、農林漁家の生活を体験する。
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う
3日目	午前	一ツ森・鬼袋地域の田植え体験（全児童参加）	当該地域の稲作の解説と参加全児童で田植え体験を行う（天候不良の場合、屋内メニューを提供）3時間 田んぼ周辺の動植物の生態観察（天候不良の場合、屋内メニューを提供）
	午後	農林漁家の生活体験（班別活動）	夕食の食材の調達（天候不良の場合、屋内メニューを提供）2時間 農林漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民宿	農林漁家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
4日目	午前	農林漁家とお別れ（お別れ式は白神自然学校で全児童そろって行う）	朝食・片付け・清掃活動・農林漁家への御礼の方法の検討 3時間 農林漁家とお別れ会
	午後	白神自然学校の教室で宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	班別に、農林漁家泊での学習の成果の取りまとめを行う。
	宿泊	白神自然学校	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	白神自然学校の中の片付けとお別れ会	片付け・清掃活動 3時間 児童による受入関係者に向けたお別れ会（演奏会）
	午後	学校まで移動	

青森県南部町  
達者村ホームステイ連絡協議会

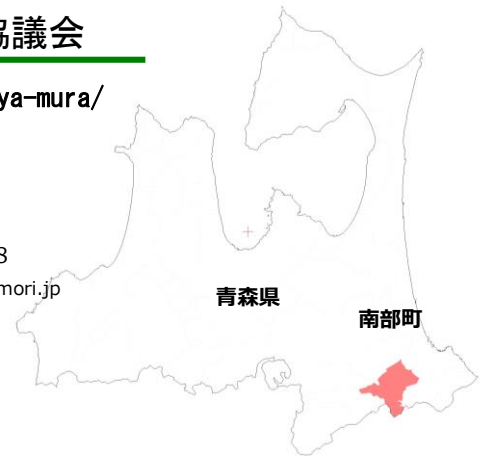
<http://www.nanbu.net.pref.aomori.jp/tassya-mura/>

**問合せ先**

窓口名：南部町農村交流推進課  
住所：青森県南部町大字平字広場 22  
TEL：0178-76-2310 FAX：0178-76-2968  
E-mail：yamada-masahiro@nanbu.net.pref.aomori.jp

**アクセス**

最寄りの都市：八戸市  
集合場所：南部町ふれあい交流プラザ  
車の場合：30分  
鉄道の場合：30分



**受入概要**

農業体験に訪れた来客者は食糧自給率を含めた食の安全、食育の推進を重要視する傾向となる。  
熱しやすく冷めやすいといわれる現代の子供達に感動を与え、受け入れ地域の農家自らも感動できるような環境を作り、心の交流を行える場を提供する。  
当地域での農業体験というためにも、生徒も調理に参加させ、出来る限り地元の取れたての食材を活用した地方ならではの料理(せんべい汁など)を提供することにより、田舎のすばらしさを体験させる。  
農業体験全体を通して、感動を与え・自分も感動できるよう努めている。

**受け入れ地域の特徴**

**自然・地理的な特色**

南部町は青森県の南東に位置し八戸市の西部に隣接しており、町の北側に国道2路線（4号、104号）、町の東南部を囲むように高速道路八戸自動車道が走っている。  
町の中央を流れる1級河川馬淵川の沿岸部は帯状に肥沃な平野が広がり、水稻や野菜の栽培が行なわれており、南西部には、標高615mの名久井岳がそびえ、丘陵地帯では果樹栽培が盛んに行なわれている。  
南部町は冬の寒さが厳しいものの、東北地方の北部にしては比較的積雪量が少なく、日常生活の面では恵まれた環境にある。最も特徴的な気象として、初夏に北海道・東北地方の太平洋側から関東地方に向かって「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹き付ける地域でもある。名久井岳と馬淵川に代表される美しく豊かな自然環境に恵まれ、各種の豊富な果物をはじめとする農産物が豊富に生産されている地域として自然と共存している。



馬淵川

**歴史・文化的な特色**

南部町は南部藩発祥の地として、古くから発達してきた歴史深い町である。国の重要文化財である「南部利康霊屋」、鎌倉執権・北条時頼公が創建した「法光寺」などの貴重な建造物遺産、「南部七唄」、「南部七踊り」、「えんぶり」などの伝統芸能遺産などの文化的資源が豊富な地域である。

**農林水産業の特色**

本町の基幹産業である農業は、「偏東風（ヤマセ）」と呼ばれる風が吹く冷涼な気象条件を克服して生まれ、サクランボ・西洋ナシ・スモモ・ウメなどの果物、食用菊・ナス・サヤインゲンなどの野菜は県内一の生産量を誇り、水稻の生産も盛んである。また、町原産のニンニク「ふくちホワイト6片種」やフランス生まれの南部町育ちと言われる「ゼネラル・レクラーク」など農産品のブランド化も図っている。林業は、戦後植林された人工林が成熟期を迎えつつあるが、木材価格の低迷による採算性の悪化、従事者の高齢化などによる手入れ不足のため、木材資源の質の低下、森林の持つ国土保全・水源かん養などの公益的機能の低下が懸念されている。畜産業は、肉用牛・乳用牛・豚・ブロイラー・採卵鶏の畜養が行われている。水産業は、馬淵川・如来堂川・猿辺川の清流を活用した内水面漁業が主となっており、アユ・ウグイ・モクズガニなどが漁獲される。また、サケのふ化・稚魚放流事業やナマズの養殖事業にも取り組んでいる。

**宿泊施設・農林漁家民泊の概要**

	農林漁家民泊
軒数	34
最大宿泊可能人数	120
料金	4000円～

## おすすめ体験学習プログラム

### りんご・桃・梨の摘花、人工授粉（120分・農業体験）

【期間】

5月下旬～6月中旬

【内容】

果樹を確実に収穫するための摘花作業と結実させるための人工授粉作業

### さくらんぼ収穫、箱詰、販売（120分・農業体験）

【期間】

6月下旬～7月中旬

【内容】

さくらんぼを収穫し、それを入れるための箱作り作業をし、箱詰めをしてから臨時販売所での販売体験

### りんごの葉摘み、袋掛け、りんごの収穫（120分・農業体験）

【期間】

8月下旬～11月上旬まで

【内容】

りんごの葉摘み作業、袋掛け作業、かごを使用してのりんごの収穫体験



### 民家の清掃体験（120分・ふるさと体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

築数十年の古民家の窓拭き・清掃を行ないながら、農家住宅の実地体験し、古き良き時代の大家族の営みを体感してほしい

#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	農産物収穫喜び体感	実施時期	5月中旬～11月中旬
ねらい	農家民泊体験により、人とのコミュニケーションや郷土文化、大家族との団らんを通じて規範意識を育むとともに、農業体験や登山体験を通じた自然学習と食育、座禅体験を通じた道徳心や集中力の醸成など、たくましい子どもの成長を育むことがねらいである。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式・対面式	受け入れ農家との対面、オリエンテーション
	宿泊	農林漁家民宿	調理体験・後片付けも行ない、夕食後は、農家と地域の歴史・伝統・文化等について体験交流する。
2日目	午前	各農園において各種の農作業を体感	各受け入れ農家の農園での農作業体験・収穫体験、昼食用食材の収穫体験、調理体験を行なう。
	午後	各農園において各種の農作業を体感	各受け入れ農家の農園での農作業体験・収穫体験、昼食用食材の収穫体験、調理体験を行なう。
	宿泊	農林漁家民宿	調理体験・後片付けも行ない、夕食後は、農家と地域の歴史・伝統・文化等について体験交流する。
3日目	午前	自然体験	登山愛好会員の指導の下、青森県立自然公園である霊峰名久井岳の登山を通じ、自然を愛する心を育む。また、印象に残った景色をスケッチする。
	午後	座禅・法話体験、ドライフラワー体験	白華山法光寺において座禅・法話の体験をすることで、道徳心や集中力の醸成を図る。
	宿泊	農林漁家民宿	調理体験・後片付けも行ない、夕食後は、農家と地域の歴史・伝統・文化等について体験交流する。
4日目	午前	各農園において農作業を体験	各指導者の農園で各種の農作業体験・収穫体験、昼食用食材の収穫体験、調理体験も行なう。
	午後	各農園において農作業を体験	各指導者の農園で各種の農作業体験・収穫体験、昼食用食材の収穫体験、調理体験も行なう。
	宿泊	農林漁家民宿	調理体験・後片付けも行ない、夕食後は、農家と地域の歴史・伝統・文化等について体験交流する。
5日目	午前	離村式	

## 岩手県花巻市

はなまきグリーン・ツーリズム推進協議会

<http://www.jahanamaki.or.jp/>

### 問合せ先

窓口名：花巻農業協同組合  
住所：岩手県花巻市野田 335-2  
TEL：0198-22-6280 FAX：0198-22-7784  
E-mail：makiko1602@jahanamaki.or.jp

### アクセス

最寄りの都市：盛岡市  
集合場所：JAいわて花巻総合営農拠点センター  
車の場合：50分  
鉄道の場合：10分



## 受入概要

花巻市では平成12年度から中学校を中心とした教育旅行の受入れを行っており、平成19年度には34校（3,000人）の農業・農村体験を受入れ、体験後も手紙のやりとりや受入農家が学校訪問するなど交流も続いているのが特徴である。

子ども農山漁村交流プロジェクトの実施にあたり、事務局側で先進地研修を実施し、先進地のノウハウを学んでいる。また、今後は、農家や指導者の勉強会を開催するなど、地域内の連携をこれまで以上に強化して事業に取り組むこととしている。

安心・安全をモットーに農業を基盤にした体験を提供していますが、毎回同じメニューを提供するのではなく、受け入れる学校の先生方と意見交換をしながら、教育効果の高いメニューづくりに取り組んでいる。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

花巻市は、岩手県のほぼ中央に位置し、西側には奥羽山脈、東側には北上高地の山並みが連なる肥沃で、北上平野に位置している。また、県内唯一の花巻空港があるだけでなく、釜石線を利用して沿岸部に電車で移動することができる。高速道路も、東北自動車道と東北横断自動車道が通っており計4のインターチェンジがありアクセスに恵まれている。

北上川を挟んだ低地帯は、内陸型盆地気象が強く、特に夏場における昼夜の温度差が大きい一方で、冬季は比較的温暖で積雪量が少なく、西部の奥羽山麓は、寒冷多雪の裏日本海気候に支配され、積雪期間も長く晩霜の害を被ることもあり、地域内においても気象条件は様々である。

### 歴史・文化的な特色

詩や童話、教育、農業、科学と多彩な活動で知られる宮沢賢治や、日本の近代美術の先駆者の一人である萬鉄五郎、詩人・彫刻家の高村光太郎、新田開発で地域に大きく貢献した新渡戸稲造など、岩手を代表とする先人達のゆかりの地として、文化施設などが整備されており、先人達の活動を学習することができる。

### 農林水産業の特色

#### （農業）

花巻市は、岩手県の主要な穀倉地帯であり、米を中心に、日本一の雑穀や、麦、大豆に加え、野菜・果樹を中心とした園芸作物などあらゆる作物が生産されている。

また、肉用牛のほか乳用牛や肉豚などの畜産も盛んなバランスのとれた広域複合産地であることから、様々な農業について学習することができる。

#### （林業）

市の総面積の6割強の59,652haが森林となっていることから、環境を保全するうえで森林が果たす役割についての認識が広まり、人工林、有用広葉樹の育成など計画的に造林、保育、間伐が行われており、様々な視点で環境について学習することができる。



## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家以外の民宿
軒数	30	1
最大宿泊可能人数	120	30
料金	6000円～	4100円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 里山体験（120分・里山体験）

【期間】

4月～10月

【内容】

花巻の里山で、林業の大切さと林・森の大事さを伝える。インストラクターと一緒に里山を歩き、生き物・植物を観察し、自然を満喫する。

### 宮沢賢治の世界体験（120分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

宮沢賢治の一生と花巻の関わりを学習し、賢治が作った童話「鹿踊りのはじまり」を読み、実際の鹿踊りを体感する。

### りんごづくり体験（120分・農業体験）

【期間】

5月～10月まで

【内容】

りんごづくりのひとつの行程を体験。収穫時には自分が作業したりんごが送られる。りんごの栽培方法やりんごのおいしい見分け方、りんごの料理方法なども伝える。



### 温泉エコ体験（180分・自然・環境体験）

【期間】5月～10月まで

【内容】

花巻地方は温泉地帯であるため、自然に恵まれた環境であることを学びながら、温泉の仕事を体験しながら、環境を守る活動をする。

### こびる作り体験 180分・食の体験

【期間】

通年

【内容】

花巻地方に伝わる郷土料理を調理して食べる。

### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	イーハトーブから五感を感じ、心と生命を学ぶ	実施時期	4月～10月
ねらい	児童が花巻の持つ自然・農業を体験しその舞台上で心と生命を学ぶ。班活動や集団活動で規則正しい生活、農家泊での異世代交流を行い、普段味わえない様々な人・物と出会い、五感を感じ、自律できる心を育てることをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発式の後、そば打ち体験（班ごとの実習）	花巻の農産物雑穀の学習・実習
	午後	入村式～農業農村体験	農家に任せて、農村生活を体験
	宿泊	農林漁家民泊	農家ごとに交流を深める。
2日目	午前	農業農村体験	農業農村体験
	午後	農業農村体験	農業農村体験
	宿泊	農林漁家民泊	お別れ会を農家ごとに行う。
3日目	午前	郷土料理作り体験	花巻地方に伝わる郷土料理を体験（祭り寿司など）
	午後	温泉エコ体験	温泉郷の歴史や温泉について学習 3時間 職場体験を通じ環境について学習
	宿泊	民間宿泊施設	星の観察
4日目	午前	里山体験	インストラクターによる木・森の学習 5時間 季節を感じながら木工体験
	午後	宮沢賢治の世界体験	宮沢賢治の一生と宮沢賢治が作った童話を学習 1時間 童話に出てくる郷土芸能を体感
	宿泊	民間宿泊施設	バーベキュー、キャンプファイヤー
5日目	午前	片付けとお別れ会	児童と受入関係者に交流会（学校の伝統芸を披露）
	午後	学校まで移動	

## 岩手県久慈市 ふるさと体験学習協会

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

### 問合せ先

窓口名：ふるさと体験学習協会  
住所：岩手県久慈市川崎町1-1  
TEL:0194-52-2111(内)343 FAX:0194-52-3653  
E-mail: m-tomoyuki@city.kuji.iwate.jp

### アクセス

最寄りの都市：盛岡市  
集合場所：市役所山形総合支所駐車場  
車の場合：100分



## 受入概要

久慈市山形町は、自然豊かな山々に囲まれた美しい農山村である。白樺林と豊かなブナ林、自然放牧の短角牛、豊かな伝統食文化、炭焼きなどが特徴である。

自然や農山村文化、ワザを持った人、さまざまなプログラムを用意している。日本の原風景ともいえる昔ながらの農山村で育まれてきた文化や農業・林業等を体験し、感性や社会観を養う。

これまで、中・高校生の受入がほとんどだったが、小学生向けのプログラムの開発や児童に対する接し方など勉強会などをして受け入れを進めたい。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

久慈市山形町は、岩手県の北部に位置し、面積の95パーセントが山林という豊かな自然に囲まれた人口約3,500人の農山村である。

市中心街との直線距離は19km、隣県八戸市とは41km、県都盛岡市とは61kmで結ばれている。自然資源の紹介面積295.49km<sup>2</sup>の95パーセントが山林であり、30万本の白樺自然林を有する。また、その周辺の山々にはクマやムササビなどの野生生物の棲むブナやミズナラ林などが広がり、豊かな水を涵養している。

### 歴史・文化的な特色

豊かな自然の恵みを有効に活用し、先人たちがすばらしい山村文化を創ってきた。現代、将来に求められる様々な「知恵」を持つ名人が在る。

夏でも冷涼なこの地域には、雑穀を使った伝統食が数多くある。培われてきた食文化を体験し、本物のスローフードを学ぶ。

### 農林水産業の特色

#### 1. 久慈市の農業の概要

ヤマセによる冷涼な気候を利用して栽培するほうれん草と放牧による健康で安全な牛肉として高い評価を得ている短角牛が特産。

#### 2. 久慈市の林業の概要

面積の90%以上を山林で占め、木炭とシイタケは県内でも有数の産地となっている。

#### 3. 久慈市の漁業の概要

寒流と暖流が交錯する久慈近海一帯は古くから好漁場として知られた海域で、水産資源に恵まれ、定置網や漁船での捕獲と、アワビ、ウニ、ホヤなどの磯漁が盛んに行われている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館
軒数	20	4	1
最大宿泊可能人数	100	32	240
料金	4000円～	4000円～	6300円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 炭焼き体験（120分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

山形町の代表的な産業である炭焼き。町内にある多数の炭窯では多くの炭が生産されている。山から採れた木や間伐材で、実際に炭焼きを体験します。

### 白樺、ブナ林エコトレッキング（所要時間 120分・自然環境体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬

【内容】

日本最大級の白樺林やブナの原生林、四季の山野草が咲く高原を巡る大自然満喫のトレッキング。平庭高原で実施する。

### 平庭高原オリエンテーリング（120分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬

【内容】

コンパスの使い方、地図の見方をまずマスターしてから、グループに分かれて、目的地に向かって出発する。

### 内間木溪流シャワークライミング（所要時間 120分・自然環境体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬

【内容】

溪流を歩行で上流へと登っていく。淵や瀬、滝など変化に富み、予測できない環境の中を流れに逆らって、ゴールを目指す。



#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	ほうれん草収穫体験	実施時期	4月中旬～10月中旬
ねらい	児童が、久慈市の特色ある自然・農林漁業を体験し、チャレンジするとともに、農林漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式、観光地・史跡等見学体験	受入農家との対面、オリエンテーション 1時間 近隣の史跡・その地域の由来・施設案内塔
	宿泊	平庭山荘コテージ	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす
2日目	午前	内間木洞探検	洞窟の仕組みや、周辺の地層、そこを流れる水、生息する動植物などの観察をする
	午後	シャワークライミング、キャンプファイヤー	淵や瀬、滝など変化に富み、予測できない環境の中を流れに逆らって、ゴールを目指すことで、困難に打ち勝つ心や協調性を養う
	宿泊	平庭山荘コテージ	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす
3日目	午前	対面式、施設案内（ハウス等見学）	受け入れ農家との対面、オリエンテーション 各農家に任せて、農家の生活を体験する 1時間 農家による種まきから収穫・出荷までの流れについての説明 雑草等の除去整地、鍬等耕作用の器具を実際使用しての整地 1.5時間
	午後	草取り体験・整地体験、種まき体験	農家の方から説明を受け、実際に機会による種まき体験
	宿泊	農家民泊	夕食づくり体験と、農家との団欒
4日目	午前	収穫体験	農家の方から説明を受け、規格内のほうれん草収穫
	午後	調整作業・出荷体験	ほうれん草の調整作業・箱詰め等、農協等出荷先の見学
	宿泊	農家民泊	夕食づくり体験と、農家との団欒
5日目	午前	フォレストボード、ふりかえり	板に好きな絵や、文字を書いて打ち付ける （森の中に作られた、勾配の緩やかな木道です） 2時間 個別・班別に、5日間での学習の成果、気づいたことをふりかえり、とりまとめを行う
	午後	学校まで移動	



問合せ先

窓口名：遠野山・里・暮らしネットワーク  
住所：岩手県遠野市新穀町1番11号とびあ2F元気  
ルーム内  
TEL：0198-62-0601 FAX：0198-62-0601  
E-mail：yamasato@tonotv.com

アクセス

最寄りの都市：盛岡市  
集合場所：遠野市総合福祉センター駐車場  
車の場合：90分 鉄道の場合：85分

受入概要

受入れ協議会で情報を密にし、安心安全でぬくもりのある事業推進を図る。  
また、農家民泊、遠野ふるさと村体験施設活用の上、『遠野物語』に代表される歴史や文化、四季が織り成す豊かで美しい広大な自然を生かした「遠野ツーリズム」を体感してもらいたい。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

遠野市は岩手県を縦断する北上山地の中央部に位置し、内陸と沿岸を結ぶ交通、産業の要所にあたり、標高1,917mの早池峰山を最高峰に標高700~1,000mの高原群が周囲を取り囲み、市域の中央部にある遠野盆地に市街地を形成している。  
気候は、四季の移ろいがはっきりとしており、最高気温は30度を上回り、最低気温は零下15度を下回る日もある。特に、国の文化的景観に指定された荒川高原には、馬が放牧され、現在も馬事文化が息づいている。また、早池峰山、六角牛山、石神山に代表される雄大な峰々の麓から、1級河川の猿ヶ石川を始めとする河川が市域中央部に合流し清らかな流れは、見るものにやすらぎを与えてくれる。

歴史・文化的な特色

日本民俗学の祖柳田国男の『遠野物語』に代表される歴史や文化が、「かつば淵」や「五百羅漢」などの自然名跡に今も息づいている。また、国の重要文化財に指定された「千葉家の曲り家」に代表される南部曲り家の保存と地域文化の伝承が、遠野固有の文化を伝えている。「遠野ふるさと村」では、体験施設として六棟の曲がり屋を配し、予約により語り部による昔話も聞くことができる。

農林水産業の特色

1. 葛巻町の農業の概要：

町の産業は、山間高冷地であるため、稲作に適した環境とは言えない。そのため、酪農や林業の他、冷涼な気候を活かした農作物、主に、ほうれんそう・大根・野沢菜といった野菜と、りんどう、小菊等の花卉の栽培が行われている。中でも酪農は、明治25年にホルスタイン種を導入して以来、酪農の歴史は110年を超える。昭和50年から8年の歳月をかけた北上山系開発事業により大規模な草地造成などが行われ、これを契機に大規模な酪農経営が確立され、現在では、乳牛飼養頭数11,000頭、牛乳生産量は一日120tとなり、東北一の酪農の郷として発展を遂げている。

2. 葛巻町の林業の概要：

町の森林面積は、37,074ha、蓄積5,976千m<sup>3</sup>であり、このうち国有林面積は757ha、蓄積116千m<sup>3</sup>、民有林面積36,317ha、蓄積5,680千m<sup>3</sup>となっており、民有林が98%を占めている。

計画的な森林施業の実施、地元産カラマツの差別化と高度利用、企業の森整備など特色ある取組みにより森林業の活性化にも力を注いでいる。また、特用林産物利用による山ぶどうワイン等の加工販売も活発である。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	25	2	40	15
最大宿泊可能人数	100	20	850	85
料金	6000円~	6000円~	-	5250円~

## おすすめ体験学習プログラム

### 家畜のお世話（一分・動物・昆虫体験）

【期間】

6月上旬～7月下旬・9月上旬～9月下旬・11月上旬～4月下旬

【内容】

餌やりから厩舎の清掃、餌となる草集めや、動物のブラッシング、鶏の卵拾いや、仔馬子牛の世話など。市内各所に点在している畜産農家。馬の原型は南部駒、牛は遠野牛としてブランド化している。

### 炭焼きとシイタケ栽培作業（一分・林業体験）

【期間】

6月上旬～7月下旬・9月上旬～9月下旬・11月上旬～4月下旬

【内容】

首都圏にも多く出荷される岩手炭は、県内各所で焼かれたもの。その1部が遠野の窯の物で、ほぼ岩手窯を使って焼かれる。岩手産のシイタケにおいてはブランド化され、中でも遠野産は名高い。炭焼き用の木、シイタケのほだ木用の木切り 窯内の木並べ 炭の裁断 シイタケ植菌のためのコマ彫り シイタケの植菌など

### 遠野的農村の暮らし

【期間】

6月上旬～7月下旬・9月上旬～9月下旬・11月上旬～4月下旬

【内容】

農家ではない家庭でも受入れを実施。訪問してからすぐに、大家族の中に入って世代間交流をしながらの生活の始まりとなる。大人数のお料理を作ったり、部屋数の多い、お庭の広い北国の家を体感する。

### 遠野物語を生で聴こう（30分・ふるさと体験）

【期間】

6月上旬～7月下旬まで  
9月上旬～9月下旬まで  
11月上旬～4月下旬まで

【内容】

一言で「遠野物語」と言っても、市内各地域で微妙に内容や言葉遣いが違ったりします。プロの語り部さんのほかに、各家庭のおばあちゃん、お母さんも語り部となります。今にも座敷わらしが現れそうな茅葺き家屋でお話が聞けるのも、遠野ならではの。



### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	遠野農村体感プログラム	実施時期	-
ねらい	児童が、遠野地域の特色ある自然・農林漁業を体感し、チャレンジするとともに、農林漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式→農家へ移動	オリエンテーション、受入れ農家との対面 1時間 挨拶、自己紹介、農家さんのお手伝い
	宿泊	農家民宿、農泊	生活体験の感想等を語らう
2日目	午前	農業・農村生活体験	各農家にお任せした農作業等
	午後	自然体験「川下り」	溪流に移動し、農家さんと一緒に川下り体験
	宿泊	農家民宿、農泊	生活体験の感想等を語らう
3日目	午前	農家さんと一旦お別れ	各農家にお任せした農作業等
	午後	農業施設見学	大規模農業など、個人農家と違う面を感じる
	宿泊	公共施設：遠野ふるさと村	夕食作り体験、民泊学習のまとめ
4日目	午前	自然体験「ホーストレッキング」	地域資源である馬とのふれあい、昼食作り体験
	午後	学習のまとめ発表会&お別れ会	夕食作り体験、発表の準備 2時間 民泊農家さんとのお別れ会を兼ねた学習発表会
	宿泊	公共施設：遠野ふるさと村	夕食作り体験、民泊学習のまとめ
5日目	午前	工芸体験→閉村式	染物や陶芸など、児童にあった体験を選択 2時間
	午後	学校へ移動	片付け、清掃活動後閉村式



**問合せ先**

窓口名：おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会  
住所：岩手県奥州市水沢区大手町一丁目1番地  
TEL：0197-24-2111 FAX：0197-23-5240  
E-mail：chie-y@city.oshu.iwate.jp

**アクセス**

最寄りの都市：盛岡市  
集合場所：受入地域により集合場所を設定  
車の場合：60分 鉄道の場合：40分

**受入概要**

1. 従来実施している教育旅行の体制を基本に、農家・地域住民が、受入側の主人公になるように進めている。
2. 実施にあたり、事務局側で農家及び関係者を対象に、各種講習会を開催しています。また、受入プランが決定次第、早急に農家や指導者のオリエンテーションを開催し、連携をとり事業に取り組んでいる。
3. 奥州が取組むモットーは、安心・安全な取組み。農業を基盤に体験をおこなっておりますが、毎回同じメニューではなく、参加者の意見を取り入れながら、来ていただいた参加者に満足が得られるようなメニューづくりに取り組んでいる。
4. 行政・農協と地域住民が一体となって、グリーン・ツーリズムに取り組んでおり、地域全体で取組めるように進めている。

**受け入れ地域の特徴**

**自然・地理的な特色**

奥州市は岩手県の内陸南部に位置し地域の中央を北上川が流れ、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっている。交通アクセスは、花巻空港から約40分、また東北新幹線は、水沢江刺駅、一関駅がある。東北自動車道では、水沢と平泉前沢インターチェンジがある。国道4号線をはじめとした国県道が整備されており、高速交通網に恵まれた地域となっている。

気象条件は、東西方向に長く伸びた地形であることから、気温や降水量地域間の格差がある。市の西側、焼石連邦沿いは、標高も高く日本海側の気候の影響も受け、降水量・降雪量も多くなっている。市の中央から東側の北上山地にかけては、内陸性気候、盆地性気候に属している。

**歴史・文化的な特色**

後藤新平、高野長英、斉藤實、菊田一夫など、岩手を代表とする先人達のゆかりの地として、文化施設などが整備されている。また、胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居は、日本の農村の原風景と考えられている。北上川東部には、宮沢賢治がこよなく愛したといわれる種山高原、阿原山高原が連なるなどの美しい自然や、ふるさと自然塾、衣川歴史ふれあい館、牛の博物館、えさし郷土文化館、明治記念館、胆沢郷土資料館、奥州市伝統産業会館など、歴史や文化などの展示やさまざまな体験施設も数多く整備されている。また、湯量豊富で様々な泉質による効能ある温泉施設が、市内に10件あるなど、滞在型の観光拠点となっている。

**農林水産業の特色**

1. 奥州市の農業の概要：県内第1位の生産量を誇る稲作を中心に農業生産を展開している。また、市内それぞれの地域の特性を活かして、県内第1位の生産である肉用牛や県内有数となっているピーマン、きゅうり、トマトなどの栽培のほか、県内第2位の生産量であるりんごやりんどうなど、多種多様な農畜産物の生産が行われており、広域複合産地として発達している。

2. 奥州市の林業の概要：東に北上山地、西に奥羽山脈がそびえており、森林面積は59,381ha、市の総面積の59.8%を占め、そのうち国有林が24,216ha、民有林が34,861haとなっている。森林施業の遅れや伐採跡地の再生の遅れがあるものの、森林の持つ多様な機能に対する市民の関心は高く、健全な森林づくりと林業の振興を図るため、森林の持つ公益的機能と多面的機能が有機的に結合した森林資源を有効活用するための環境整備や、市民や市民グループ等と連携した森林体験活動等による森林環境教育を促進している。

**宿泊施設・農林漁家民泊の概要**

	農林漁家民泊	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	34	1	1
最大宿泊可能人数	136	56	345
料金	7200円～	5985円～	6405円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 梅づくり体験（-分・農業体験）

【期間】

4月～10月 ※梅加工体験は、収穫時期限定

【内容】

梅づくりのひとつの行程を体験。収穫時には自分が作業した梅を使って簡単なお菓子作りや梅漬け加工をおこなう。梅の栽培方法。梅の栄養価（保存食）について。梅の加工・料理方法など



### 姉体太鼓の実演体験（60分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

伝統芸能の一つである太鼓。姉体との関わりについて学習し、実際の演奏を見ながら、指導・交流をとおして体感する。奥州市を活動拠点にしている創作和太鼓の団体：姉体太鼓「鳴鼓会（みょうこかい）」の太鼓を鑑賞し、実演指導を受けながら体感する。

### 牛とのふれあい体験（120分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

- ・畜舎内の牛に給餌作業をする。
- ・牛と直接ふれあう体験を行う。
- ・牧場内でバーベキューを行う。生きている牛とふれあうことで、生物と食との関連を学ぶ。

#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	アテルイの里から、五感を感じ、心と生命を学ぶ	実施時期	4月下旬～11月下旬
ねらい	児童が奥州市の持つ自然・農業を体験しその舞台で心と生命を学ぶ。班活動や集団活動で規則正しい生活、農家泊での異世代交流を行い、普段味わえない様々な人・物と出会い、五感を感じ、自律できる心を育てることをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発式 ①そば打ち体験、②すいとん作り（班ごとに実習）	出発式 オリエーション
	午後	入村式～農業・農村体験	各農家に移動して農業・農村体験
	宿泊	農林漁家民泊	農家ごとに交流を深める
2日目	午前	農業・農村体験	農業・農村体験
	午後	農業・農村体験	農業・農村体験
	宿泊	農林漁家民泊	お別れ会を農家ごとに行う
3日目	午前	宮沢賢治と天文・宇宙のつながりを感じよう体験	4次元デジタル宇宙シアター上映。展示室で惑星の重力くらべや、月のパズル、マジックミラー等の体験 1時間 ガリレオ型望遠鏡作り
	午後	自然・環境体験	インストラクターによる自然の風景や歴史的な景観を楽しみながらハイキング 2時間 ガリレオ型望遠鏡を使って、生き物・植物の観察
	宿泊	民間宿泊施設	姉体太鼓の実演体験
4日目	午前 午後	生活体験	座禅体験 1時間 古代生活体験 「縄文人一日なりきり体験」： お昼ご飯のため火起こしを体験。くるみなど穀物の入った縄文クッキーや黒曜石のナイフで切った肉を、熱した石の上で焼く等、素朴な味を堪能する。 弓矢体験では、鹿やイノシシの絵が描かれた的にめがけ、矢を放つ。 古代の宝石をイメージしながらトンボ玉づくり
	宿泊	民間宿泊施設	児童と受入関係者の交流会（学校の伝統芸を披露）
	5日目	午前 午後	振り返り 片付けとお別れ会 学校まで移動

岩手県雫石町

雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会

<http://www.shizukuishi-kanko.gr.jp/>

問合せ先

窓口名：一般社団法人 しずくしい観光協会  
住所：岩手県雫石町千刈田 5-1  
TEL：019-692-5138 FAX：019-692-5208  
E-mail：k-ishi@shizukuishi-kanko.gr.jp

アクセス

最寄りの都市：盛岡市  
集合場所：西山地区構造改善センター  
車の場合：30分 鉄道の場合：30分



受入概要

1. 当協議会開設当初から取り組んでいる教育旅行の体制を基本とし、農家主導で行うことのできるよう進めている。
2. 教育旅行受入を実施するにあたり毎年1回、同じように教育旅行を受入れている地域へ赴き、先進地研修を行っている。これにより、各農家が受入に際し解らない物事の解決方法を学び、次回受入の際に実践できるよう取り組んでいる。
3. 雫石における教育旅行受入の方針は、安全・安心・結いっ子の精神である。農作業体験を通して食の安全・安心・助け合いの心を学んで頂ける様取り組んでいる。作業内容においても毎回メニューを組み立て、生徒達が楽しく農業を学び農家と触れ合い、ご満足頂ける様取り組んでいる。
4. 行政と当協議会、観光協会、農家が一体となってグリーン・ツーリズムの推進に取り組んでおり、地域全体で取り組むことの出来るよう進めている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

雫石町は県庁所在地である盛岡市の西隣に位置しており、秋田県仙北市と隣接している。北部から西部へと連なる岩手山、裏岩手連峰、烏帽子岳、駒ヶ岳連峰山の1,400~2,000m級の奥羽山系の山脈に囲まれている。東北新幹線と田沢湖線が通っており、高速道路では最寄の盛岡ICから約20分で当町まで到着することが出来る。

雫石町は、典型的盆地を形成しその中央部に耕地がある。地域内を流れる主な河川は雫石川・葛根田川・南畑川があり、地域東方で合流し雫石川となって盛岡市へ流下している。気候は盆地型のため、夏には昼夜の寒暖の差が大きい。また、冬季は積雪も多い。山々に囲まれ清流の流れる地域である。また、十和田八幡平国立公園を有することから、温泉・山岳登山の資源を有する。



奥羽山脈雫石の山々

歴史・文化的な特色

宮澤賢治、石川啄木など岩手を代表する偉人達のゆかりの地として、毎年多くの観光客が訪れ、歴史を紹介するスタッフなど受け入れ体制が整備されている。また、小岩井農場や雫石町歴史民俗資料館など雫石の歴史を学ぶことのできる施設の整備も整っている。そして、町内には全部で10の泉質の違う温泉があり、開湯1,000年の歴史をもつ名湯もある。雫石町は温泉と観光地、自然に恵まれた滞在型にふさわしい観の拠点となっている。

農林水産業の特色

【農業】雫石町の農業は、稲作を基幹とし、畜産、園芸、菌茸とを組み合わせた複合経営が主体である。近年では、米の生産調整拡大に伴い、転作田を利用した麦、大豆、そばといった土地利用型作物の生産が増えており、これら作物の本格的作付けに伴う営農類型の変化がみられる。将来的に米、園芸畜産の主要3部門がそれぞれ3分の1の生産力を持つ雫石型複合経営の確立を目指すとともに、農業・農村の多面的機能の維持・保全に努め、安全な食料を安定的に供給する魅力ある農村を目指している。

【林業】町の総面積の80%の49,250haが森林面積であり、そのうち国有林が31,846ha、民有林が17,404haとなっている。人工林について、間伐等の保育作業の遅れがあるほか、林業作業員の高齢化、外材の輸入による地場産材需要の低迷といった林業経営意欲の減退要因により、林業生産活動は停滞傾向にある。

また、森林の持つ公益的機能について、一般の関心度が増し、環境保全に森林が果たす役割とその重要性についての認識が高まりつつある。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	13	14	41	1
最大宿泊可能人数	60	700	3860	272
料金	5800円~	3700円~	5000円~	8400円~

## おすすめ体験学習プログラム

### チャグチャグ馬っこ作り（120分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

人馬の無病息災・家内安全・五穀豊穡を祈るチャグチャグ馬っこを作って持ち帰り、みんなの幸せを願う体験。

### 里山散策体験（120分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

雫石に位置する国立公園内を時間を気にせず、ゆったりと歩く。国立公園内に生息する動植物を観察し、自然と人間が共存することの大切さを学習する。町内にある十和田八幡平国立公園内を地元の自然山岳インストラクターとともに散策し、自然の大切さと生物・植物が共存することの大切さを学び、大自然を満喫する。また、川遊び等も体験する。

### 郷土料理作り体験（180分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

農家の人とともに、農家の台所を使って雫石に伝わる郷土料理「重っこ料理」を作り、食す。四季それぞれにあった食材を利用し体験する。

### 農業・農村体験（120分・農業体験）

【期間】

4月下旬～10月中旬

【内容】

雫石の四季にあった農作業全般（春：田植え、野菜の種蒔き・夏：夏野菜の収穫・秋：野菜の収穫、稲刈り）。年間を通じての家畜のお世話。



#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	農業と自然体験から結っこの精神を学ぶ	実施時期	5月上旬～10月中旬
ねらい	児童が雫石の自然や農業を体験し、昔から伝わる「結っこの精神」を学ぶ。また、郷土料理や民芸品の体験を通して、雫石の文化を学び、班ごとや集団生活で規則正しい生活を、また、農家に滞在し農家でしか味わうことの出来ない交流を通じて、様々な人々と出会い、発見をし、集団で活動することの大切さを学ぶことを狙いとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発式 受入式～農家民泊体験	出発式 オリエンテーション (雫石の農業に関する学習) 2時間 農家との対面 各農家に移動し、農業農家民泊体験
	午後	農業体験	農業農林体験
	宿泊	農林漁家民宿・農林漁家民泊	農家との交流
2日目	午前	農業体験	農業農林体験
	午後	農業農村体験 郷土食作り体験	農業農林体験 3時間 各農家で郷土食を作り夕食で食す
	宿泊	農林漁家民宿・農林漁家民泊	農家との交流・食文化の学習
3日目	午前	農業体験	農業農林体験
	午後	民芸品作り体験	民芸品「忍び駒」作り体験
	宿泊	農林漁家民宿・農林漁家民泊	お別れを農家ごとに行う
4日目	午前	里山体験	インストラクターによる木・森などの学習
	午後	農場の歴史学習	日本で唯一の民間総合農場で歴史を学習 3時間 バター作り体験
	宿泊	民間宿発施設	星空観察等
5日目	午前	片付けとお別れ会	児童と受入関係者との交流会 2時間 そば打ち体験～昼食
	午後	学校へ移動	

## 岩手県葛巻町

(社)葛巻町畜産開発公社ふれあい交流課

<http://www.kuzumaki.jp/>

### 問合せ先

窓口名： 社団法人 葛巻町畜産開発公社  
住所： 岩手県葛巻町葛巻 40-57-125  
TEL：0195-66-0211 FAX：0195-66-0755  
E-mail：kimura@kuzumaki.jp

### アクセス

最寄りの都市：盛岡市  
集合場所：社団法人 葛巻町畜産開発公社  
車の場合：60分 鉄道の場合：40分



## 受入概要

○いつでも、誰でも、何日でも受け入れできる。大学生の専門研修から、県内外の修学旅行、幼稚園児から小中学生、婦人会など各種団体など、多様な形での視察・見学・研修を受け入れている。365日受入態勢は整っているなお、入場料、体験料は徴収せず、体験材料費のみの負担、また、学生等の宿泊・食費は無料としている。

○地域一体となったふれあい交流活動。公社が受け入れた生徒・学生に、滞在期間や体験希望に沿ったファームステイも組み入れて体験学習を行っている。

○都市と農村の距離を縮める取り組み。都会や県都市部に住む人々と農山村に暮らす人々との「食」を中心とした生活空間の距離を縮め、食糧・環境・エネルギーの大切さを相互に認識できるように配慮している。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

本町は北緯40度にあつて、北上高地の北部に位置し、標高が高く町面積の97%が400m以上の標高にある。また、町の85%が緑豊かな森林で占められ、山岳と渓谷、そしてなだらかな高原が織りなす複雑で変化に富む地形を示している。

町の中央を流れる馬淵川の清流は、袖山高原にその源を発して、遠く青森県八戸市で太平洋に注いでおり、この馬淵川とその支流沿いに耕地が開け、集落が形成されている。山の斜面は林地として活用され、土谷川、袖山、上外川等の高原状の頂上部は牧場として利用されている。また、白樺とツツジの景勝地である久慈平庭県立自然公園をはじめ、土谷川、袖山、上外川、塚森の4牧場は循環道路で結ばれており、素晴らしい自然景観となっている。



牧場体験学習施設

### 歴史・文化的な特色

明治の廃藩置県の後、幾多の変貌を経て昭和30年7月15日に岩手郡葛巻町、同江刈村、二戸郡田部村が合併し、岩手郡葛巻町として現在にいたっている。町には、古くから牧が作られ、軍馬の産地として知られており、江戸時代には南部藩の塩が運ばれた野田街道の宿場町として栄えた。町の基幹産業である酪農は、明治25年にホルスタイン種を導入して以来、先人のたゆまぬ努力により幾多の苦難を乗り越え、110年を超える輝かしい歴史を刻み、現在では東北一の酪農郷として発展を遂げている。

### 農林水産業の特色

町の産業は、山間高冷地であるため、稲作に適した環境とは言えない。そのため、酪農や林業の他、冷涼な気候を活かした農作物、主に、ほうれんそう・大根・野沢菜といった野菜と、りんどう、小菊等の花卉の栽培が行われている。中でも酪農は、明治25年にホルスタイン種を導入して以来、酪農の歴史は110年を超える。昭和50年から8年の歳月をかけた北上山系開発事業により大規模な草地造成などが行われ、これを契機に大規模な酪農経営が確立され、現在では、乳牛飼養頭数11,000頭、牛乳生産量は一日120tとなり、東北一の酪農の郷として発展を遂げている。

町の森林面積は、37,074ha、蓄積5,976㎥であり、このうち国有林面積は757ha、蓄積116千㎥、民有林面積36,317ha、蓄積5,680千㎥となっており、民有林が98%を占めている。

計画的な森林施業の実施、地元産カラマツの差別化と高度利用、企業の森整備など特色ある取り組みにより森林業の活性化にも力を注いでいる。

また、特用林産物利用による山ぶどうワイン等の加工販売も活発である。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	公設の宿泊施設
軒数	20	1	1
最大宿泊可能人数	100	100	200
料金	5000円～	-	6300円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 仔牛の哺乳体験（90分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

生後3ヶ月以内の仔牛の哺乳体験を行う。哺乳は専用の哺乳器を使用する。プログラムは導入→展開→振り返りの手順で行う。

### 火起こし体験、野外炊事（120分・自然・環境体験）

【期間】

5月中旬～9月下旬

【内容】

熱源はマッチ、可燃物は自然の木や枯れ葉のみを使い火起こし体験を行う。起こした火で、飯ごうを使った炊飯、その他調理を行う。

### 原木シイタケ栽培管理体験（90分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

原木シイタケのつみ取り、原木の設置、食菌等を行う。

プログラムは導入→展開→振り返りの手順で行う。



#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	「いのち」をたどる	実施時期	5月上旬～10月上旬
ねらい	早朝の牛の世話を実施することで牛に対しての愛着を抱く十分な時間をとっている。一方で、いずれは私たちの食となっている現実に気付くよう促すことで、食といのちの大切さについて考えるきっかけとする。酪農や林業など町の基幹産業を体験し、山村の役割についての気づきを促す。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式 各班の目標作り 牧場探索	挨拶・自己紹介、オリエンテーション、期間全体の導入 各班の目標作り・発表 牧場を探検し役割を知る
	宿泊	民間宿泊施設 交流館プラトー	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	酪農体験学習	朝の育成牛の世話 仔牛の哺乳体験・牛の乳搾り体験
	午後	乳製品加工体験	乳製品加工体験
	宿泊	民間宿泊施設 交流館プラトー	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
3日目	午前	酪農体験学習 牧草地管理体験	育成牛の世話 牧草地の草や土を観察する 良い土にはどんな生き物が生息しているのか
	午後	農林漁家の生活体験（班別活動）	対面式、自己紹介 農作業
	宿泊	農林漁家民宿	農林漁家と情報交換を兼ねた夕食会
4日目	午前	農林漁家とのお別れ	朝食・片付け・清掃活動・農林漁家への御礼の方法の検討
	午後	加工調理体験 キャンプファイヤー	石釜ピザづくり体験 各班毎にキャンプファイヤーでのスタンプを企画 1週間の思い出を振り返る場とする
	宿泊	民間宿泊施設 交流館プラトー	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	振り返り	振り返りを行う。 さよならパーティー
	午後	学校まで移動	